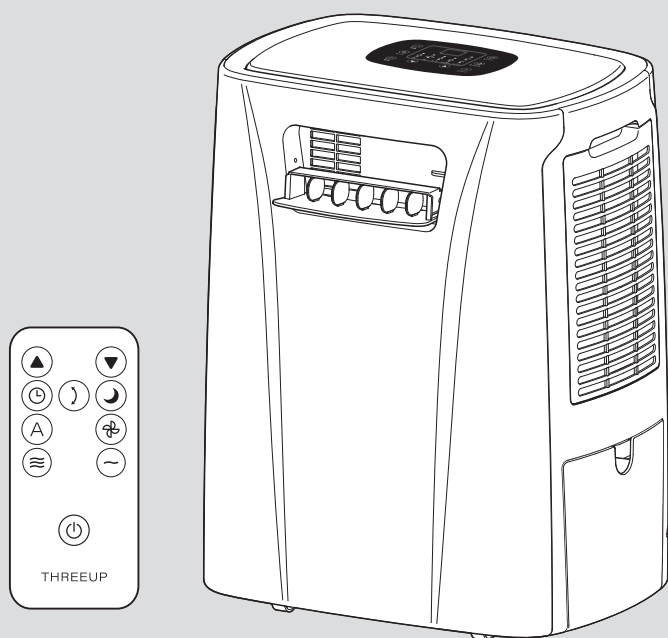


THREEUP

ダクトレス 暖房機能付 スポットエアコン 「ヒート&クール」

DL-T2604

取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

目次

はじめに

安全上のご注意	1~4
各部のなまえ	5~6
パッケージ内容	7
別売品	7
仕様	7

ご使用前に

知っておいていただきたいこと	8
設置について	9
リモコンについて	9~10
本体ジョイントの取り付け/取り外しについて	10
排気方向を調節する	11
排気蓋の取り付け/取り外しについて	11
ドア用排気ダクト(別売品)のつかいかた	12~13

ご使用方法

運転する	14
停止する	15
排水冷却運転について	15
運転モードを切り替える	16
運転モードの動作内容	17~22
設定温度を変更する	23
設定湿度を変更する	24
風量を変更する	25
オフタイマーを使う	26
オンタイマーを使う	27
おやすみモードを使う	28~29
風向きを変える	29
水タンクの水が少なくなると	30
水タンクが満水になると	30
水タンクの給水/排水について	30~31

点検・サービス

お手入れと保管方法	32~34
長期使用製品についてのご注意	34
製品の廃棄について	34
故障かな?と思ったら	35~36
エラー表示について	37
保証・サービス	38

はじめに








安全上のご注意

火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。
また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	-----------------------------------	---	---------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

   	この図記号は「禁止」されている内容です。	  	この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。
火災、感電、けがの原因になります。
分解や修理をしないでください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気が多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。
本体やリモコンを水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。
漏電、感電、火災、故障の原因になります。



禁止

お子様だけで使わせしないでください。
感電やけが、事故の原因になります。

屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。
絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。
動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本体の変形によるショートや発火、冷媒配管やドレン配管の破損、冷媒が漏れる原因になります。

本体のすき間や可動部にピンや針金などの異物を入れないでください。
感電や故障の原因になります。



禁止

引火性の物（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。
また、本体に向けて吹きかけないでください。
爆発や火災の原因になります。

延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは使用しないでください。
コンセントや電源プラグ、電源コードが異常発熱し、発火するおそれがあります。

電源をとるコンセントのすぐ下に本体を設置しないでください。
温風モード使用時、過熱により電源コードや電源プラグが損傷し、感電、火災、事故の原因になります。

風を長時間、直接体に当て続けしないでください。

温風モードを使用する場合は、長時間、体の同じ部位を温め続けしないでください。
健康を害する原因になります。
また、温風を当て続けると、やけどや低温やけどの原因になります。
とくに皮膚の弱い方、乳幼児、温度調節を自分でできない方には周りの方が注意してください。

ストーブやガスコンロなどの燃焼器具に向けて送風しないでください。
火災ややけどの原因になります。

乳幼児の手の届く所にボタン電池を置かないでください。
ボタン電池を誤飲する原因になります。
万一、誤飲した場合はすぐに医師にご相談ください。

ボタン電池を火の中に入れたり、水に濡らしたりしないでください。
また、分解や加熱をしないでください。
破裂や発熱の原因になります。

警告



禁止

温風モードの運転中や運転停止直後は、正面ルーバーに触れないでください。高温になっているため、やけどのおそれがあります。

温風モードと加湿温風モード時は、水タンクに触れ続けしないでください。

水タンクが少し熱くなるため、やけどの原因になります。

送風口や吸気口、排気口をふさいだり、本体を覆ったりしないでください。衣類やカーテンなどで吸気口、排気口がふさがれたり本体が覆われたりすると、過熱による本体の変形、発火の原因になります。

電源は必ず家庭用100V電源(容量15A-1500W)を単独で使用してください。

- 異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。
- タコ足配線はブレーカーが落ちたり、火災の原因になります。

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源コードや電源プラグ、アース線を取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 電源コードや電源プラグ、アース線を乱暴に扱ったり、重い物をのせたり、機器に挟み込んだり、損傷した物は使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- コンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードや電源プラグ、アース線が破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

周囲に十分な空間を確保して設置してください。

設置距離について、「設置について」(P.9)を必ずご確認ください。



必ず守る

ボタン電池を保管、廃棄する際は、電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼ってください。

- 複数のボタン電池が重なり合うと、一方のボタン電池が導線として働き、電極がショートして破裂や発熱を引き起こし、火災につながるおそれがあります。
- 廃棄する際は、お住いの市区長村の指示に従って廃棄してください。
- ヘアピンやコインなどの導電物と一緒に保管したり、持ち運んだりしないでください。

長時間リモコンを使用しないときは、ボタン電池をリモコンから取り出してください。

- 消耗したボタン電池を入れたままにしておくと、液漏れや腐食により、リモコンが故障する原因になります。
- 液漏れを起こした場合は、液に触れないように注意し、すぐに電池を取り出してください。
- 漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。万一、液が目に入った場合はすぐに多量の水で洗い流し、医師にご相談ください。

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。

誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

使用しない場合は、安全な場所に保管してください。

落下、衝撃、水濡れをする場所は避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音が発生する。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



必ず守る

警告

漏電遮断器、アース線の接続をおすすめします。
故障や漏電した場合、感電するおそれがあります。



《アース線を接続する場合について》

- コンセントのアース端子に接続してください。
- 漏電遮断器、アース端子がない場合は、別途工事が必要になります。お買い上げの販売店に工事を依頼してください。
電気工事は関連する法令・規定に基づき、必ず電気工事士の資格を持った方がおこなってください。
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース、絶縁物などと接続しないでください。

注意

本製品は家庭用です。業務用として使用しないでください。
故障の原因になります。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。
落下、転倒などにより、けがや事故の原因になります。

温風モード以外の運転時は、排気蓋を取り付けしないでください。
故障の原因になります。

水タンクへの給水時は、必ず温風用給水ホースと冷風用給水ホースを水タンクカバーの開口部に入れてから、水タンクを取り付けてください。
故障の原因になります。

吸気フィルター(左)/ (右) を取り外した状態で運転しないでください。
本体内部にホコリがたまりモーターが過熱するなど、漏電や事故、故障の原因になります。

製品の上に物を置いたり、踏み台にしたたり、腰掛けたりしないでください。
転倒、破損によるけがや事故の原因になります。

押し入れや家具のすき間などの狭い場所に設置しないでください。
発熱、発火の原因になります。

衣類の真下やカーテンの近く、本体に衣類をかけて使用しないでください。
吸い込みによる故障や事故の原因になります。

薬品などの周囲では使用しないでください。
本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。
テレビ、パソコン、オーディオ機器などに雑音が入る原因になります。

食品、動植物、精密機器、美術品の保存や冷却などの特殊用途には使用しないでください。
• 保存品の品質低下などの原因になることがあります。
• 動植物に悪影響を及ぼすおそれがあります。

犬や猫などのペット用として使わないでください。
ペットが本体や電源コードを傷つけ、漏電や故障の原因になります。

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。
塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

市販のエアコン洗浄スプレーは使用しないでください。
製品内部の破損や、排水経路のつまりの原因になります。

ボタン電池を素手で取り扱わないでください。
• 電極(+/-) を素手で同時に触ると、一気に放電して、消耗を早める原因になります。
• 汗や手油などが付着すると、接触不良の原因になります。

注意

水タンクの中には水道水以外の物を入れないでください。

- 一般的に水道水は塩素殺菌処理がされており、雑菌が繁殖しにくいからです。浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- 40℃以上のお湯やアロマオイル、水溶性のアロマ液、化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤を入れた水などは、製品の変形または故障の原因になります。
- 満水ライン「MAX」を超えて水を入れないでください。満水エラーが表示され運転が開始できません。



禁止

水タンクと本体（水そう部）の水が凍結するような場所では使用しないでください。故障の原因になります。

運転中は本体を移動させないでください。

- 運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、水タンク内部の水を捨ててから移動してください。
- 排水のために移動する際は、水タンク内部の水がこぼれないよう、慎重に移動させてください。水が入ったまま本体を強く揺らすと、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。

騒音に注意してください。

不安定な場所に設置すると、振動音などにより騒音が発生する場合があります。近隣の迷惑にならないよう注意してご使用ください。



必ず守る

水タンクは常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。

2～3日を目安に新しい水道水と入れ替えてください。

水を入れ替えずに長時間使用すると、雑菌やカビが繁殖して異臭や健康を害する原因になります。

長時間ご使用にならない場合や保管する際は、必ず水を捨てて、十分に乾かしてください。

本製品の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

- 「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。
- 長期間使用しない場合は内部の水を捨て、しっかりと乾かしてから保管ください。



必ず守る

運転停止から運転再開までは5分以上空けてください。

電源プラグを差し直した場合や、ブレードが落ちた場合も5分以上待ってから運転を開始してください。

すぐに運転を開始すると、圧縮機に負担がかかり故障の原因になります。

ボタン電池は電極（+/-）の向きに十分注意して装着してください。

正常に動作しない原因や、リモコンの故障の原因になります。



接触禁止

送风口や吸気口、排気口、可動部に指を入れないでください。

けがの原因になります。

本体内部の熱交換器のアルミフィンに触らないでください。

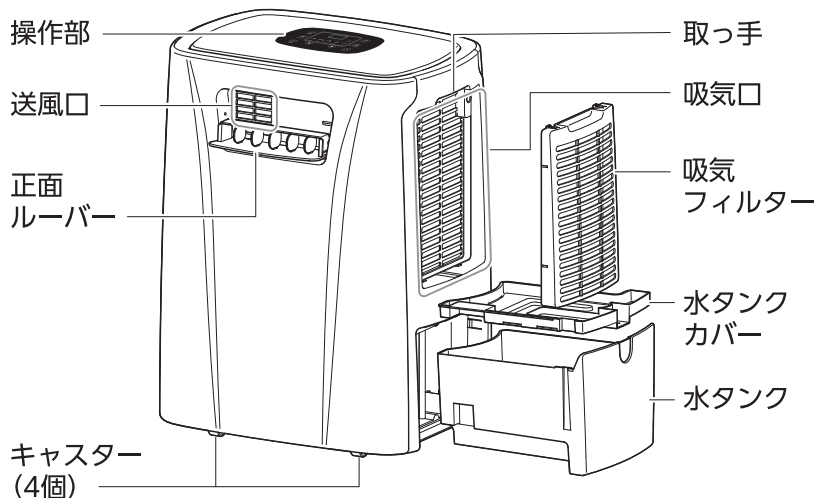
けがの原因になります。

はじめに

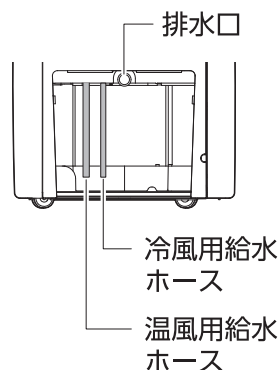
各部のなまえ

■ 本体

正面



側面 (水タンク取付部)



背面

リモコン収納部

■ 付属品

本体ジョイント

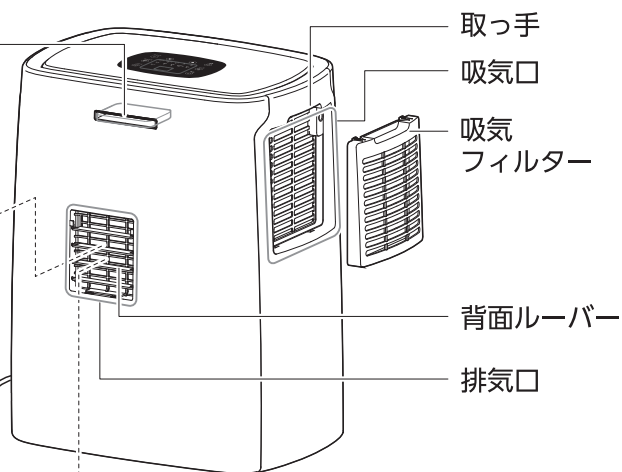
排気蓋

温風モード時のみ使用します。

電源コード

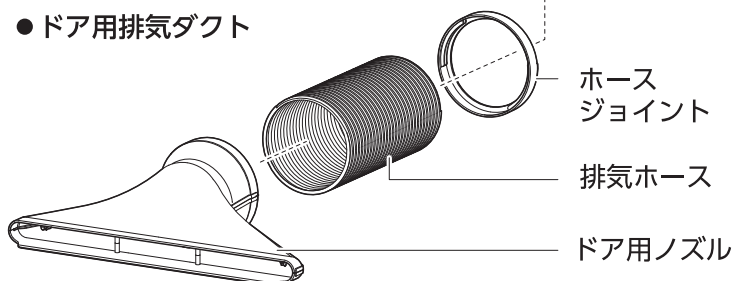
電源プラグ

アース線



■ 別売品

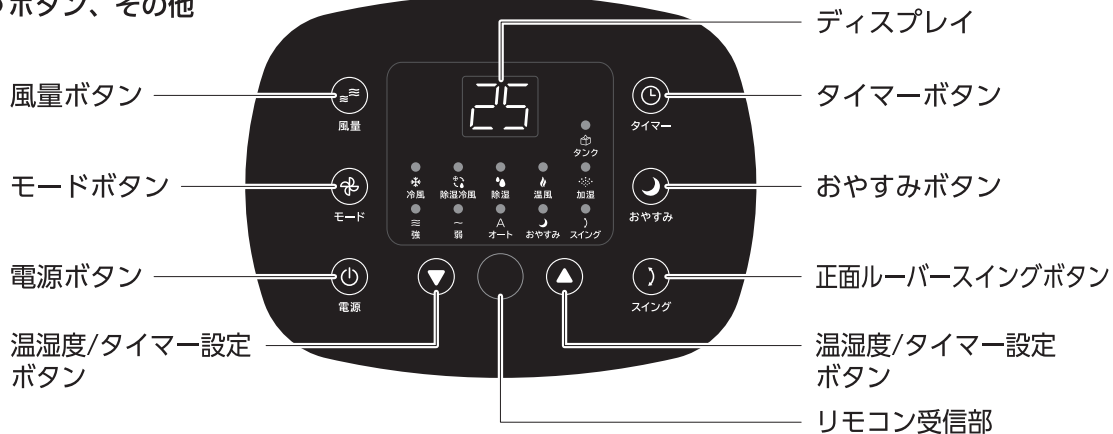
● ドア用排気ダクト



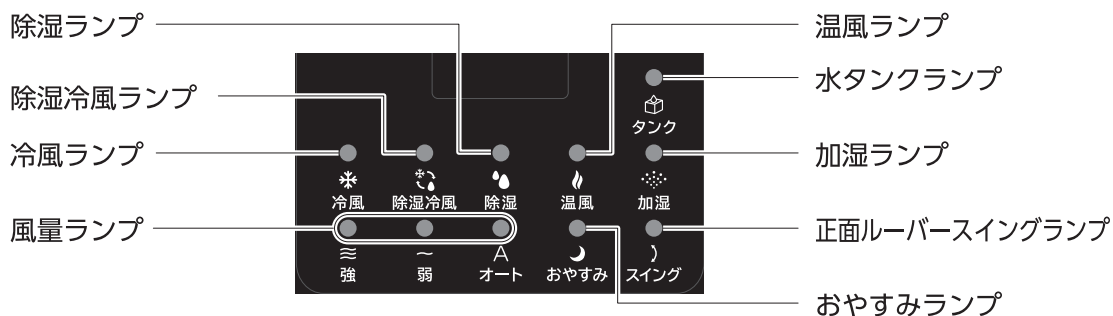
排気による湿度が気になる場合に室外に排気をおこなえます。詳細は、「ドア用排気ダクト (別売品) の使いかた」(P.12～13) をご確認ください。

操作部

● ボタン、その他

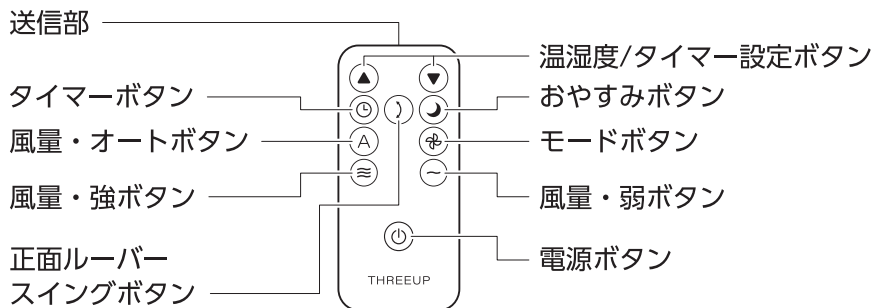


● ランプ



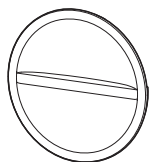
■ 付属品

● リモコン

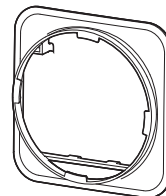


● 排気蓋

温風モード時のみ
使用します。



● 本体ジョイント



はじめに

パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	部品名	個数
本体	1	取扱説明書（保証書付き）本書	1
リモコン（CR2025電池内蔵）	1	排気蓋	1
本体ジョイント	1	—	—

別売品

下記の別売品は右のQRコードからお問い合わせください。



部品名	個数	商品単価（税抜）
ドア用排気ダクト（Z-DL-HS001）	1	4,980 円

※ 付属品または別売品を、お電話でお買い求めの際は、スリーアップカスタマーサポートにご連絡ください。別途、送料と代引き手数料がかかります。

仕様

本体サイズ	幅40×奥行28.5×高さ51 cm	質量	約16.5 kg
材質	ABS、アルミ	電源	AC100 V 50/60 Hz
冷房消費電力	50 Hz/180 W、60 Hz/210 W	温風消費電力	50 Hz/980 W、60 Hz/1050 W
1時間あたりの電気代（冷風モード）	約6.51円 （210 W連続運転時）	1時間あたりの電気代（温風モード）	約32.55円 （1050 W連続運転時）
運転電流（冷風モード）	50 Hz/1.9 A、60 Hz/2.3 A	運転電流（温風モード）	50 Hz/9.9 A、60 Hz/10.0 A
運転モード	冷風、除湿（連続/30～90%）、除湿冷風、送風、温風、加湿温風、おやすみ		
風量設定	強・弱・オート	冷房能力	50 Hz/0.5 kW、60 Hz/0.6 kW
コード長	約1.8 m	オン・オフタイマー設定	1～24時間（1時間単位）
最大除湿能力	15 L/日	運転音（冷風モード）	約49 dB（風量「強」）
運転音（温風モード）	約45 dB（風量「強」）	自動保護機能	過熱保護、霜付き保護、サーモスタット、転倒時自動オフスイッチ
冷媒	R290A/50 g	水タンク容量	約2.4 L（満水時自動停止）
ルーバー	正面：上下（自動）、背面：上下（手動）		

※ 製品は改良のため、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

※ 使用する環境によって、送風口や排気口から出る風の温度は変化します。

※ 1時間あたりの電気代は、単価31円/kWh（税込）で計算した際の目安となります。

ご使用の前に

知っておいていただきたいこと

●本製品は冷房機および暖房機ではありません

スポット冷風/温風機のため、部屋全体を冷房/暖房することはできません。

●冷風モードと除湿冷風モード時の排熱レス動作について

本製品は冷風モードと除湿冷風モード時の排気口からの風の温度を下げるため、吸気口から吸い込む風と水タンクから吸い上げた水の両方を利用して、本体内部の発熱部(熱交換器)を冷やしています。

水タンクの水が少なくなると、吸気口から吸い込む風のみで本体内部の発熱部を冷やすため、排気口からの風の温度を下げる効果が少なくなり、排気口からの風の温度があたたかくなります。

※水タンクに水がある状態でも、使用環境によっては排気される風が少しあたたかく感じる場合がありますが、異常や故障ではありません。

※除湿モード時は、本体内部の発熱部を水タンクの水を使わずに吸気口から吸い込む風のみで冷やすため、排気口からの風の温度があたたかく感じられます。除湿された水は水タンクに溜まる構造のため、満水となった場合は水タンクの水を捨ててください。

●温風モードと加湿温風モードについて

・水タンクの水をポンプで吸い上げ、ヒーターを通して吸い上げた水を循環させることで温められたアルミフィンに吸気口から吸い込む風を温めて吹出口から温かい風を出していますので、圧縮機は動作しません。

・水タンクの水が熱く感じる場合がありますが、異常や故障ではありません。

・水タンクの水が少なくなると温風が作られなくなるため、エラー表示後に運転が停止します。水タンクに給水してから運転を再開してください。

●ご使用環境について(使用可能な室温)

室温17℃～35℃の範囲を目安としてご使用ください。

温度範囲外でのご使用の場合、本体の保護機能によって運転ができない場合があります。

※冷却ユニットに霜がついた場合は一旦運転を停止しますが、霜が溶けたあとに正常運転に復帰できます。

●本体の設定温度動作と周囲湿度表示について

・ディスプレイに表示される湿度は、本体に内蔵されている湿度センサーが感知する製品の周囲湿度となります。設置場所によっては、湿度が正確に表示されない場合があります。

・設定温度に対する動作は、本体に内蔵されている温度センサーが感知する製品の周囲温度によります。設置場所によっては、設定温度に対し正確な温度での動作にならない場合があります。

●移動や保管について

本製品は圧縮機を内蔵していますので、横倒しの状態での移動や保管はしないでください。故障の原因となります。

次のような現象は製品の異常や故障ではありません。

●アルミフィンについて

熱交換器に使用しているアルミフィンは、銅管の接続の際、熱により一部変色していますが、性能に影響はありません。

●においについて

部屋や芳香剤のにおい、化粧品、汗、タバコなどのにおいが本体に付着し、吹き出す風がおうことがあります。

●音について

・運転開始直後や停止後に“シュルシュル”という音や、運転中に水が流れるような音がすることがあります。これらの音は冷媒が流れる音です。

・運転中に本体から“ピシッ”という小さな音がすることがありますが、これは本体が冷やされて収縮することにより発生する音です。

・本製品は圧縮機が作動すると、“ビーン”という大きな音が鳴りますが故障ではありません。

・冷風モード、除湿冷風モード、温風モード、加湿温風モード時に、ポンプで水を汲み上げる音(キュルキュル音、キュー音)が出る場合があります。

内部冷却や温風を作るために水タンクの水を吸い上げる音であり、異常ではありません。

●冷風モード、除湿冷風モード、除湿モード時の圧縮機の再作動について

『電源』ボタンや『モード』ボタンを操作したり、水タンクを取り外したりして圧縮機が一度停止したあとは、冷風モードなどに設定してもすぐに圧縮機が作動しない場合があります。これは圧縮機保護のための機能です。

圧縮機が再度作動するまで約3分程お待ちください。

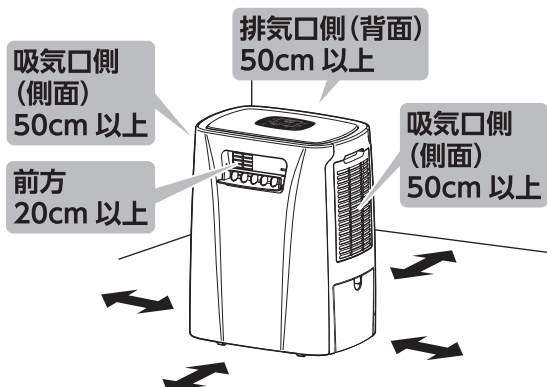
※ご使用の環境によって時間が長くなる場合があります。

ご使用の前に

設置について

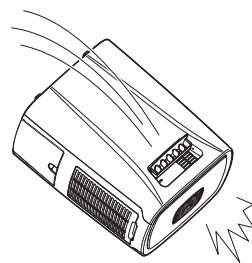
■ 設置条件

- 水平で安定した場所に設置してください。
不安定な場所で使用すると、転倒や振動音が発生したり、水が漏れたりする原因になります。
- 吸気口と排気口は、壁や障害物、可燃物の表面から50cm以上離してください。
- 本製品の本体重量は約16.5kgです。重量に十分耐える場所に設置してください。
畳の上や、やわらかいフローリングの上などの傷がついたり、設置の跡が残ったりする可能性がある場所には設置しないでください。



■ 転倒時自動オフスイッチ

本体が転倒したり、傾いたりしたときに自動で運転を停止します。転倒時自動オフスイッチが作動してディスプレイにエラーコード「E8」と表示され、運転が停止します。引き続きご使用になる場合は、水平な床面にもう一度設置して「E8」の表示が消えたあとに『電源』ボタンを押してください。



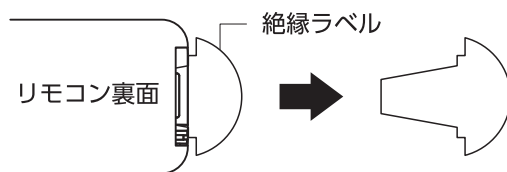
■ 安全装置

温風モードと加湿温風モードの設定時に異常な温度上昇を感知した場合は、サーモスタット（異常温度保護機能）が作動し、ヒーターの回路を遮断する場合があります。その場合は温度が下がっても吹出口の風が温かくなりません。

リモコンについて

工場出荷の段階でボタン電池が装着されています。ご使用前に絶縁ラベルを引き抜いてください。

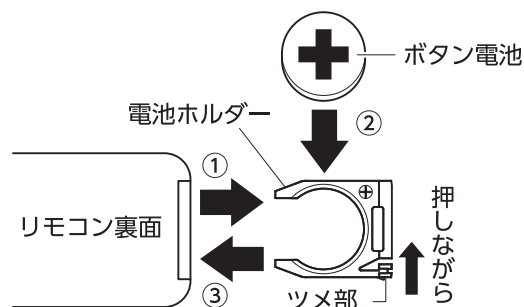
※製品に付属しているボタン電池はテスト用のため、早く消耗する場合があります。



■ ボタン電池の交換方法

使用するボタン電池は「CR2025」です。

- ① リモコン裏面の電池ホルダーのツメ部を、矢印方向に押しながら引き抜きます。
- ② 新しいボタン電池の【+】を上にして装着します。
- ③ 電池ホルダーを「カチッ」と音がするまではめ込みます。

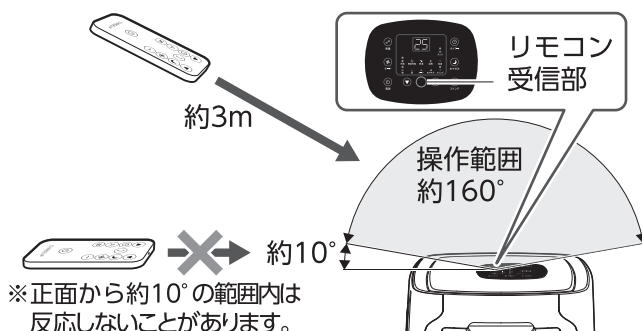


■ 操作範囲

リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて使用してください。操作距離は直線で約3mです。

テレビやオーディオのリモコンなどを使用した際、まれに本体が反応して動作することがあります。これは本製品と同じ周波数を利用している機器で起きる現象です。

このような場合は本体に影響しない場所でご使用ください。



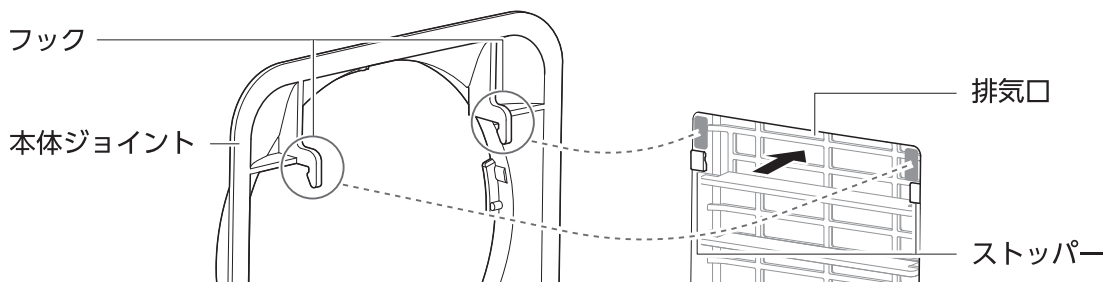
本体ジョイントの取り付け/取り外しについて

■ 本体ジョイントについて

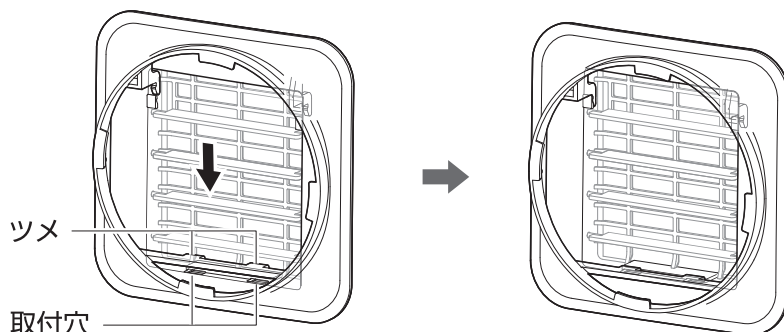
排気蓋またはドア用排気ダクト(別売品)を取り付けるため、本体ジョイントを排気口に取り付けます。

■ 取り付けかた

① 本体ジョイント裏面のフック(2か所)を、ストッパー上部の■部に差し込んで本体に沿わせます。



② 本体ジョイントを“カチッ”と音がするまで下に押し込み、フックをストッパーに、ツメ(2か所)を取付穴にはめ込みます。



■ 取り外しかた

本体ジョイントを持ち上げてフックとツメを、ストッパーと取付穴から取り外して手前に引きます。

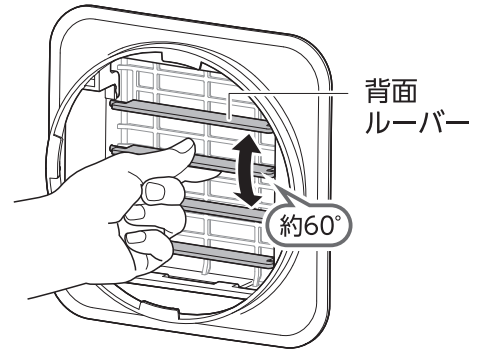
メモ 本体ジョイントは意図せずに脱落することを防ぐため、固めに設定しております。

ご使用の前に

排気方向を調節する

背面ルーバーを持って上下に動かします。
約60°の範囲で可動します。

背面ルーバーは1枚を操作するとすべて同時に可動します。



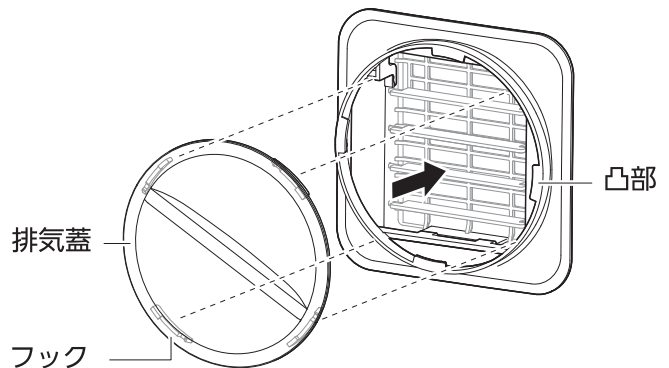
排気蓋の取り付け/取り外しについて

■ 排気蓋を取り付ける場合と取り外す場合

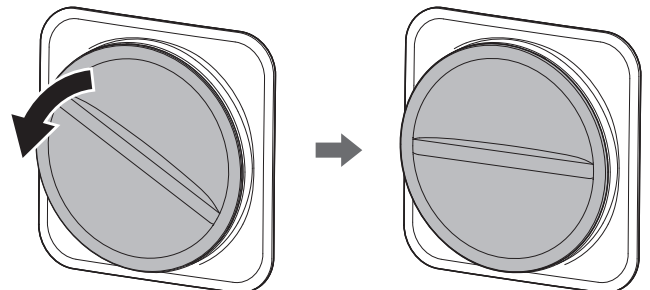
- 温風モード時は、排気口から温かくない風が出ます。部屋の温度を下げってしまう可能性がありますので、排気蓋を取り付けてご使用ください。
- 温風モード以外のモード時は、湿気が本体内部にこもることによって不具合を発生させる可能性がありますので、排気蓋を【必ず】取り外してください。
- ドア用排気ダクト (別売品) を取り付ける場合も、排気蓋があると取り付けできないため取り外してください。
- 本体ジョイントは取り外さなくてもご使用になれます。

■ 取り付けかた

- ① 排気蓋のフック (4か所) と本体ジョイントの凸部が重ならない位置に向けて取り付けます。



- ② 排気蓋を反時計回りに回します。



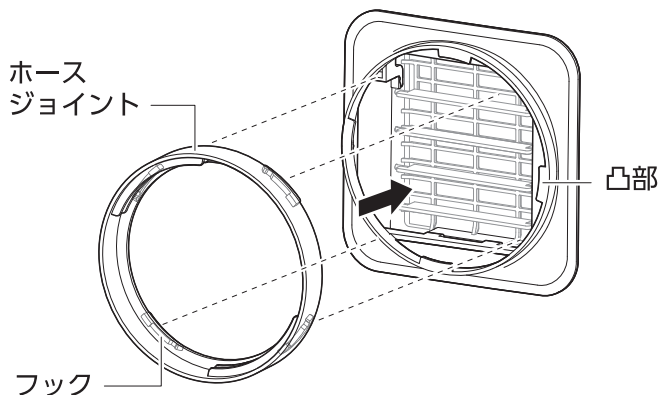
■ 取り外しかた

排気蓋を時計回りに回し、手前に引いて取り外します。

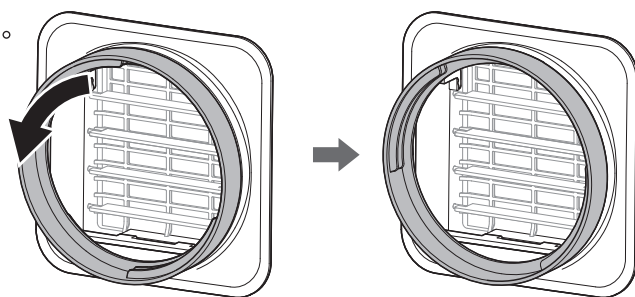
ドア用排気ダクト(別売品)の使いかた

■ 取り付けかた

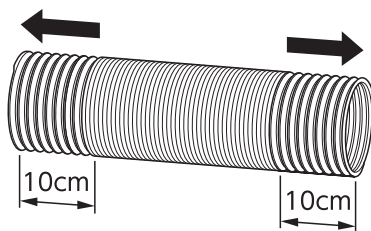
- ① 排気蓋が取り付けられている場合は、時計回りに回し手前に引いて取り外します。排気蓋が取り付けられていない場合は、②にお進みください。
- ② ホースジョイントのフック (4か所) と本体ジョイントの凸部が重ならない位置に向けて取り付けます。



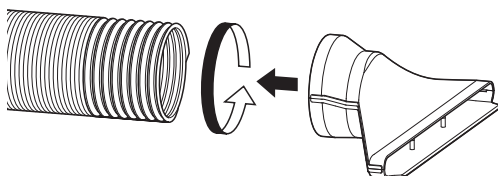
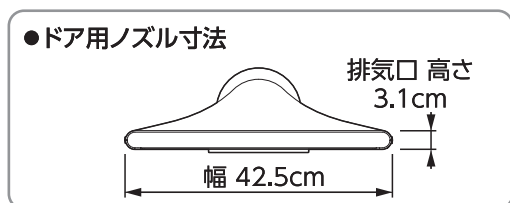
- ③ ホースジョイントを反時計回りに回します。



- ④ 排気ホースの両端を10cm程度伸ばします。

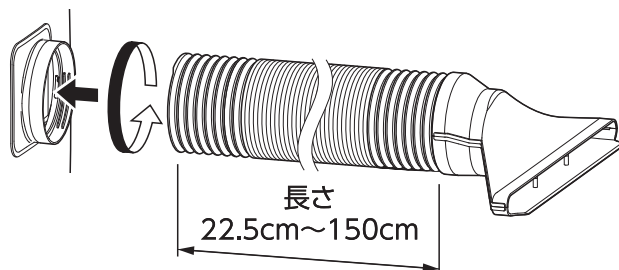


- ⑤ ドア用ノズルを反時計回りに回して、排気ホースに取り付けます。



ご使用の前に

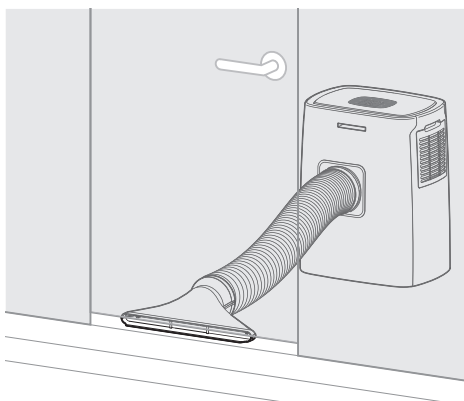
- ⑥ 排気ホースを反時計回りに回して、ホースジョイントに取り付けます。



■ 使いかた

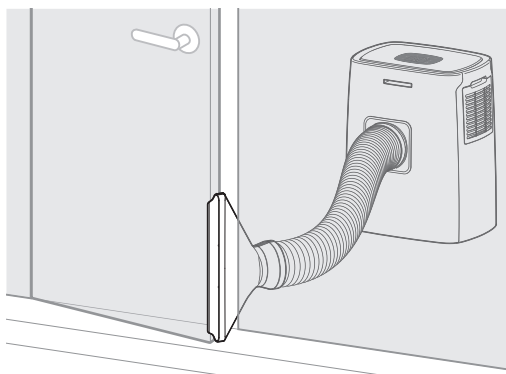
- ドアの下ですき間が20mm以上あり、ドア用ダクトの先端を差し込める場合

- ① 排気ホースを曲げ伸ばしして長さや向きを調節します。
- ② ドア用ノズルの先端をドアの下のすき間に差し込みます。



- ドアの下にすき間がなく、ドア用ダクトの先端を差し込めない場合

- ① 部屋のドアを少し開けます。
- ② 排気ホースを曲げ伸ばしして長さや向きを調節します。
- ③ ドア用ダクトの先端をドアのすき間にはさみます。



ご使用方法

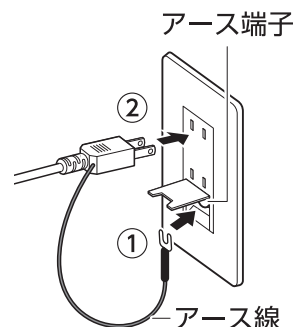
運転する

① アース線をアース端子に接続します。

アース線の接続をおすすめします。故障や漏電した場合、感電するおそれがあります。

《アース線を接続する場合について》

- コンセントのアース端子に接続してください。
- 漏電遮断器、アース端子がない場合は、別途工事が必要になります。お買い上げの販売店に工事を依頼してください。
電気工事は関連する法令・規定に基づき、必ず電気工事士の資格を持った方がおこなってください。
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース、絶縁物などと接続しないでください。



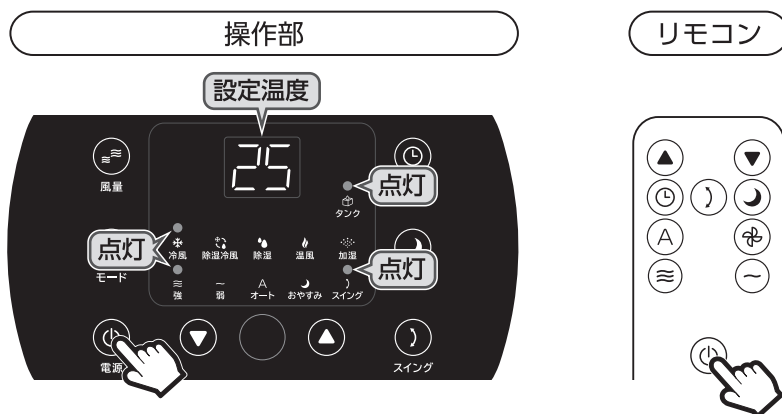
② 電源プラグをコンセントに差し込みます。

”ピーツ”と電子音が鳴って、すべてのランプとディスプレイが点灯したあとに消灯します。同時に正面ルーバーが一度開閉して待機状態となります。

③ 操作部またはリモコンの『電源』ボタンすと、正面ルーバーが開いて運転を開始します。

『冷風』ランプ、『風量』ランプ「強」、『正面ルーバー swings』ランプ、『水タンク』ランプが点灯し、”ピツ、ピツ、ピツ、ピツ、ピツ”と電子音が5回鳴って、ディスプレイに設定温度を表示します。

- 操作部とリモコンのボタン操作時は、”ピツ”と電子音が鳴ります。
- はじめてお使いになる場合や電源プラグを差し直した場合は、冷風モードで運転を開始して、設定温度は「25℃」、風量は「強」、正面ルーバー swings 運転「ON」となります。



メモ

- 『冷風』ランプが点滅する場合は、周囲温度よりも設定温度が高くなっている場合があります。
- 水タンクに水が入っている場合は、『水タンク』ランプは点灯しません。

減灯機能

操作しない状態が約1分間続くと、操作部のランプは減灯します。

ご使用方法

停止する

運転中に操作部またはリモコンの『電源』ボタンを押すと、運転モードによって次の動作後にすべてのランプとディスプレイが消灯し、正面ルーバーが閉じて運転が停止します。

- ・温風モードと加湿温風モードの運転停止：約7分間の排水冷却運転をおこなったあとに停止します。
- ・その他の運転モードの運転停止：約7秒間の送風運転をおこなったあとに停止します。

メモリー機能

- ・一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。(オフタイマー設定とおやすみモードは除く)
- ・電源プラグを差し直した場合はリセットされます。

⚠ 注意



必ず守る

長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く場合は、必ず先に『電源』ボタンを押して運転を停止させてください。

運転中に電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

温風モードと加湿温風モードの運転停止後は、《送風運転の停止》を確認してから電源プラグを抜いてください。

排水冷却運転について

- 温風モードと加湿温風モードの運転中に下記の状態になったときには、熱くなった内部の水を冷却するため自動的に約7分間排水冷却運転をおこないます。
 - ・『電源』ボタンを押して運転停止したとき
 - ・水タンクの水が少なくなって運転停止したとき
 - ・エラー発生時に運転停止したとき
- 排水冷却運転中は、ディスプレイに下図のように繰り返し表示します。約7分経過するとディスプレイが消灯し、自動で停止します。

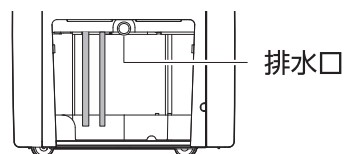
注意

温風モードと加湿温風モード時は排水口から水タンクに熱い水が流れ出ます。

排水冷却運転中は絶対に水タンクを取り外さないでください。

やけどやけがの原因になります。

本体側面(水タンク取外時)



ディスプレイ



メモ

- ・ポンプで水を汲み上げる音(キュルキュル音、キュー音)や水の流れる音が出る場合があります。水タンクから水を吸い上げたり、水タンクへ水が流れたりする音であり、異常ではありません。
- ・排水冷却運転中は、『電源』ボタンのみ操作でき、『電源』ボタンを押すと運転を停止します。

運転モードを切り替える

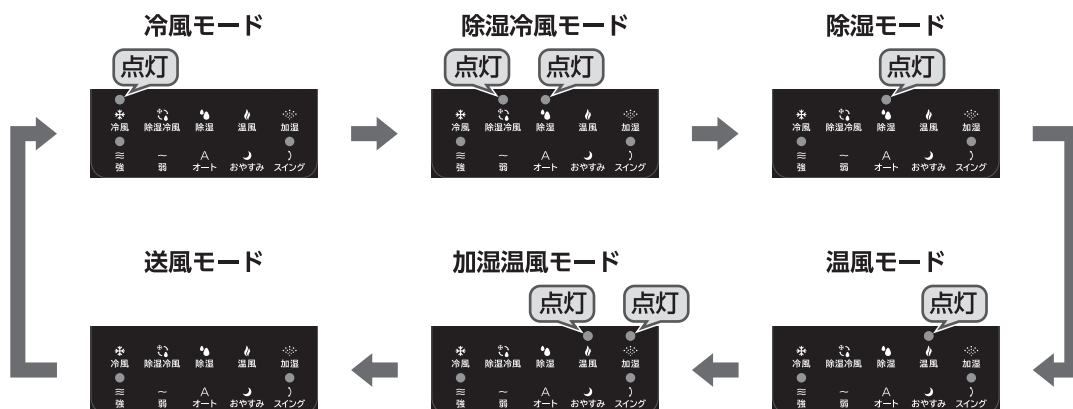
運転中に操作部またはリモコンの『モード』ボタンを押します。

『モード』ボタンを押すたびに下図の順で運転モードが切り替わり、設定にあわせて点灯する運転モードのランプとディスプレイの表示も切り替わります。

お好みに風量の切り替え、正面ルーバースイング運転、設定温度、設定湿度、オン/オフタイマーの設定をおこなってください。



運転モードランプの点灯順



運転モードの動作内容

■ 冷風モードの動作内容

周囲温度が設定温度よりも高い場合は冷風運転へ、周囲温度が設定温度よりも低い場合は送風運転へ自動で切り替えます。

● 冷風モードの準備について

- 冷風モード時は排気口からの風の温度があたたかくなることを抑えるため、水タンクに給水してから運転してください。

詳細は「水タンクの給水/排水について」(P.30～31)の項目をご確認ください。

- 【必ず】排気蓋を取り外してください。

詳細は「排気蓋の取り付け/取り外しについて」(P.11)の項目をご確認ください。

● ディスプレイの表示について

ディスプレイには設定温度が表示されます。

ディスプレイ

設定温度 (17～30℃)



● 設定温度を変更する

はじめてお使いになる場合や電源プラグを差し直した場合は、設定温度は「25℃」となります。お好みにより設定温度を変更してください。

詳細は「設定温度を変更する」(P.23)の項目をご確認ください。

● 冷風運転と送風運転の自動切り替えについて

- 周囲温度が設定温度以下になると、『冷風』ランプが点灯から点滅に切り替わり、送風運転となります。
- 周囲温度が設定温度より高くなると、『冷風』ランプが点滅から点灯に切り替わり、冷風運転となります。

メモ 周囲温度が設定温度より高くなっても、送風運転に切り替わってから約3分以上は圧縮機保護のため、冷風運転に切り替わりません。

● 水タンクの水が少なくなった場合

“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ”と電子音が5回鳴って、『水タンク』ランプが点灯します。水が少なくなったまま使用を続けると、排気口からの風の温度があたたかくなるため、水タンクに給水してください。

詳細は「水タンクの給水/排水について」(P.30～31)の項目をご確認ください。

■ 除湿冷風モードの動作内容

冷風運転での排熱レス動作時に発生する湿気によって周囲の湿度が上がりすぎないように、冷風運転と除湿運転を自動で切り替えます。

● 除湿冷風モードの準備について

- 除湿冷風モード時は、冷風モード同様に水タンクに給水してから運転してください。

詳細は「水タンクの給水/排水について」(P.30～31)の項目をご確認ください。

- **【必ず】** 排気蓋を取り外してください。

詳細は「排気蓋の取り付け/取り外しについて」(P.11)の項目をご確認ください。

● ディスプレイの表示について

ディスプレイには設定温度が表示されます。

ディスプレイ

設定温度 (17～30℃)



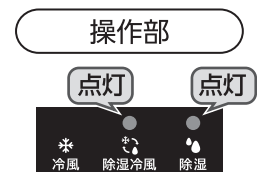
● 設定温度を変更する

はじめてお使いになる場合や電源プラグを差し直した場合は、設定温度は「25℃」となります。お好みにより設定温度を変更してください。

詳細は「設定温度を変更する」(P.23)の項目をご確認ください。

● 除湿運転と冷風運転、送風運転の自動切り替えについて

- 冷風運転時に本体が検知する周囲湿度が約65%以上になると、『除湿冷風』ランプと『除湿』ランプが点灯し、冷風運転から除湿運転に自動で切り替わります。



- 除湿運転時に本体が検知する周囲湿度が約60%以下になると、『除湿冷風』ランプと『冷風』ランプが点灯し、除湿運転から冷風運転に自動で切り替わります。



- 冷風運転と送風運転の自動切り替えは、冷風モードの条件と同様となります。操作部の表示は、『除湿冷風』ランプと『冷風』または『除湿』ランプが条件にあわせて、点灯または点滅します。

詳細は「冷風モードの動作内容」(P.17)の項目をご確認ください。

ご使用方法

●水タンクの水が少なくなった場合

“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ”と電子音が5回鳴って『水タンク』ランプが点灯します。水が少なくなったまま使用を続けると、排気口からの風の温度があたたかくなるため、水タンクに給水してください。

●水タンクが満水になった場合

ディスプレイにエラーコード「E4」と表示され、約7秒間の送風運転をおこなったあとに運転が停止します。水タンクの水を約半分を目安に捨ててください。

■除湿モードの動作内容

部屋の空気を取り込んで水分を水タンクに排出し、乾燥した冷風を送り出します。

●除湿モードの準備について

- 除湿モード時は除湿されたドレン水が水タンクに溜まります。水タンクに水が入っている場合は、必ず水を捨ててから運転してください。

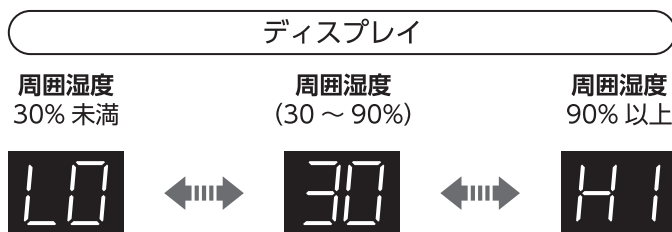
詳細は「水タンクの給水/排水について」(P.30～31)の項目をご確認ください。

- 【必ず】排気蓋を取り外してください。

詳細は「排気蓋の取り付け/取り外しについて」(P.11)の項目をご確認ください。

●ディスプレイの表示について

- ディスプレイには周囲湿度が表示されます。
- 周囲湿度が30%未満では「Lo」、90%を超えると「Hi」を表示します。



●設定湿度を変更する

はじめてお使いになる場合や電源プラグを差し直した場合は、設定湿度は「CO」(連続運転)となります。お好みにより設定湿度を変更してください。

詳細は「設定湿度を変更する」(P.24)の項目をご確認ください。

●除湿運転と送風運転の自動切り替えについて

- 周囲湿度が設定湿度より2%以下になると、『除湿』ランプが点灯から点滅に切り替わり、送風運転となります。
- 周囲湿度が設定湿度より3%以上になると、『除湿』ランプが点滅から点灯に切り替わり、除湿運転となります。
- 設定湿度を「CO」にすると、周囲湿度に関係なく連続で除湿運転します。

メモ 周囲湿度が設定湿度より3%以上でも、送風運転に切り替わってから約3分以上は圧縮機保護のため除湿運転に切り替わりません。

●風量の切り替えについて

除湿モード時は風量「オート」の設定はできません。

●水タンクが満水になった場合

ディスプレイにエラーコード「E4」と表示され、約7秒間の送風運転をおこなったあとに運転が停止します。水タンクの水を捨ててください。

霜付き保護動作

- 冷風モード、除湿モード、除湿冷風モード時に本体内部の霜付き保護検知機能が作動すると、冷風運転または除湿運転が停止して、ディスプレイの表示が「dF」になり、自動で送風運転に切り替わります。ディスプレイの表示が元に戻ると、設定されている運転モードで運転を再開します。
- 霜付き保護動作中に操作部またはリモコン操作をおこなうと、設定変更後にディスプレイの表示が再度「dF」に切り替わります。

ディスプレイ



■温風モードの動作内容

周囲温度が設定温度よりも低い場合は温風運転へ、周囲温度が設定温度よりも高い場合は温風吹き出しの停止へ自動で切り替えます。

●温風モードの準備について

- 温風モード時は、水タンクの水を使用して温風を出すため、**【必ず】**水タンクに給水して温風用給水ホースと冷風用給水ホースを水タンクに入れてから運転してください。

詳細は「水タンクの給水/排水について」(P.30～31)の項目をご確認ください。

- 排気蓋を取り付けてください。

詳細は「排気蓋の取り付け/取り外しについて」(P.11)の項目をご確認ください。

●ディスプレイの表示について

ディスプレイには設定温度が表示されます。

ディスプレイ

設定温度 (17～30℃)



●温風モード開始時について

温風が出てくるまで、周囲の環境によっては約10分くらい時間がかかることがあります。

●設定温度を変更する

はじめてお使いになる場合や電源プラグを差し直した場合は、設定温度は「25℃」となります。お好みにより設定温度を変更してください。

詳細は「設定温度を変更する」(P.23)の項目をご確認ください。

ご使用方法

● 温風運転と温風停止の自動切り替えについて

- ・周囲温度が設定温度より高くなると、『温風』ランプが点灯から点滅に切り替わり、温風の吹き出しを停止します。
- ・周囲温度が設定温度より低くなると、『温風』ランプが点滅から点灯に切り替わり、温風運転となります。

● 風量の切り替えについて

温風モード時は風量「オート」の設定はできません。

● 水タンクの水が少なくなった場合

温風モードと加湿温風モード時は、排水冷却運転をおこないます。約7分後に排水冷却運転が停止し、“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ”と電子音が5回鳴って、ディスプレイにエラーコード「E9」が表示され、運転が停止します。

注意

温風モードと加湿温風モード時は排水口から水タンクに熱い水が流れ出ます。排水冷却運転中は絶対に水タンクを取り外さないでください。やけどやけがの原因になります。

■ 加湿温風モードの動作内容

温風運転での乾燥によって周囲の湿度が下がりすぎないように、温風運転をしながら排気口から加湿された空気を送り出します。

● 加湿温風モードの準備について

- ・加湿温風モード時は、ヒーターで水を温めて温風を作ると同時に加湿をおこなうため、**【必ず】**水タンクに給水して温風用給水ホースと冷風用給水ホースを水タンクに入れてから運転してください。

詳細は「水タンクの給水/排水について」(P.30～31)の項目をご確認ください。

- ・**【必ず】**排気蓋を取り外してください。

詳細は「排気蓋の取り付け/取り外しについて」(P.11)の項目をご確認ください。

● ディスプレイの表示について

ディスプレイには設定温度が表示されます。

ディスプレイ

設定温度 (17～30℃)



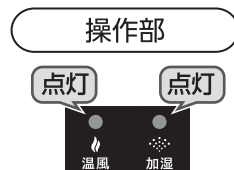
● 設定温度を変更する

はじめてお使いになる場合や電源プラグを差し直した場合は、設定温度は「25℃」となります。お好みにより設定温度を変更してください。

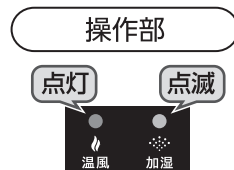
詳細は「設定温度を変更する」(P.23)の項目をご確認ください。

● 温風運転と加湿温風運転、温風停止の自動切り替えについて

- 温風運転時に本体が検知する周囲湿度が約60%以下になると、『温風』ランプと『加湿』ランプが点灯し、温風運転から加湿温風運転に自動で切り替わります。



- 加湿温風運転時に本体が検知する周囲湿度が約65%以上になると、『温風』ランプが点灯、『加湿』ランプが点滅し、加湿温風運転から温風運転に自動で切り替わります。



- 温風運転と温風停止の自動切り替えは、温風モードの条件と同様となります。操作部の表示は、『温風』ランプと『加湿』ランプが条件にあわせて点灯または点滅します。

詳細は「温風モードの動作内容」(P.20)の項目をご確認ください。

● 風量の切り替えについて

加湿温風モード時は風量「オート」の設定はできません。

● 水タンクの水が少なくなった場合

温風モードと加湿温風モード時は、排水冷却運転をおこないます。約7分後に排水冷却運転が停止し、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」と電子音が5回鳴って、ディスプレイにエラーコード「E9」が表示され、運転が停止します。

注意

温風モードと加湿温風モード時は排水口から水タンクに熱い水が流れ出ます。排水冷却運転中は絶対に水タンクを取り外さないでください。やけどやけがの原因になります。

■ 送風モードの動作内容

設定した風速(強/弱)で風を送り出します。

● ディスプレイの表示について

ディスプレイには「-」が表示されます。

ディスプレイ



● 風量の切り替えについて

送風モード時は風量「オート」の設定はできません。

ご使用方法

設定温度を変更する

冷風モード、除湿冷風モード、温風モード、加湿温風モード、おやすみモード（冷風・除湿冷風・温風・加湿温風）時に設定温度を変更できます。

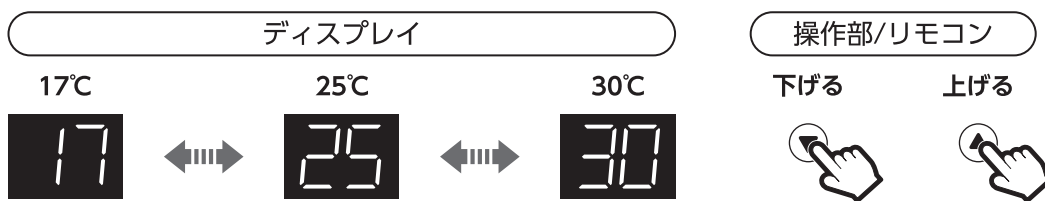
■ 設定温度を変更する

- ① 冷風モード、除湿冷風モード、温風モード、加湿温風モード、おやすみモード（冷風・除湿冷風・温風・加湿温風）の運転中に、操作部またはリモコンの『温湿度/タイマー設定』ボタンを押すと、ディスプレイの設定温度表示が点滅します。



- ② ディスプレイの点滅中に、操作部またはリモコンの『温湿度/タイマー設定』ボタンを押して温度を設定します。

- ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。
- 『温湿度/タイマー設定』ボタンは、「▲」を押すたびに1℃単位で上がり、「▼」を押すたびに1℃単位で下がります。
- 温度は17～30℃の範囲で設定できます。



- ③ ディスプレイが点灯になると、設定完了となります。

設定湿度を変更する

除湿モードとおやすみモード（除湿）時に設定湿度を変更できます。

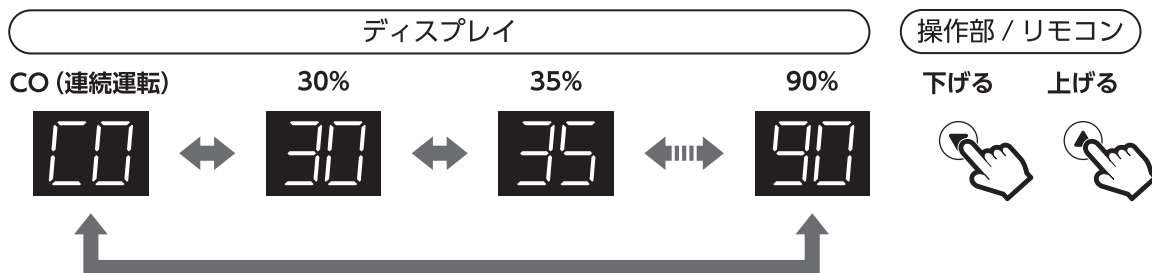
■ 設定湿度を変更する

- ① 除湿モードまたはおやすみモード（除湿）の運転中に、操作部またはリモコンの『温湿度/タイマー設定』ボタンを押すと、ディスプレイが周囲湿度表示から設定湿度表示に切り替わり点滅します。



- ② ディスプレイの点滅中に、操作部またはリモコンの『温湿度/タイマー設定』ボタンを押して湿度を設定します。

- ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。
- 『温湿度/タイマー設定』ボタンは、「▲」を押すたびに5%単位で上がり、「▼」を押すたびに5%単位で下がります。
- 湿度は30～90%の範囲で設定できます。
- 30%のときに「▼」を押した場合と、90%のときに「▲」を押した場合は、「CO」表示となり連続運転で動作します。
- はじめてお使いになる場合や、電源プラグを差し直した場合の設定湿度は「CO」となります。



- ③ ディスプレイが点灯になると、設定湿度表示から周囲湿度表示に切り替わり、設定完了となります。

メモ

設定湿度を確認したいときは、本体またはリモコンの『温湿度/タイマー設定』ボタンを押すと、設定湿度を約5秒間点滅表示します。

ご使用方法

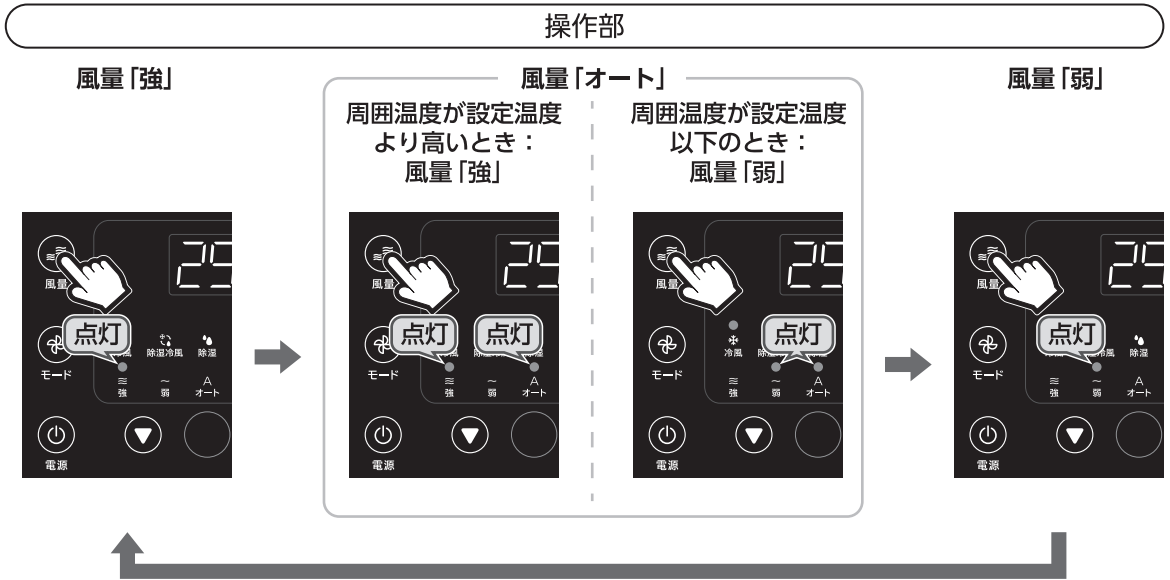
風量を切り替える

風量の「強」、「弱」、「オート」を設定します。

■ 風量を切り替える

◎ 本体操作で切り替える

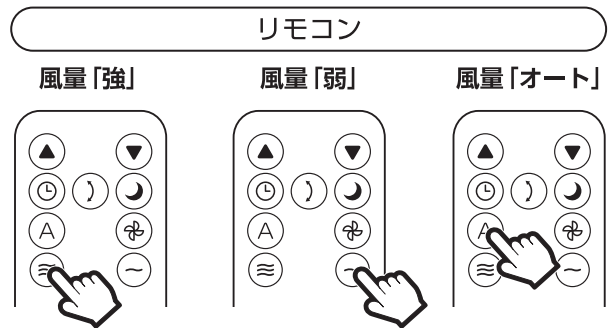
操作部の『風量』ボタンを押すたびに風量が「強」、「オート」、「弱」の順に切り替わり、設定にあわせて点灯する『風量』ランプも切り替わります。



◎ リモコン操作で切り替える

お好みの風量になるボタンを押して切り替えます。設定にあわせて点灯する『風量』ランプも切り替わります。

- 風量「強」 ⇨ 『風量・強』ボタンを押す。
- 風量「弱」 ⇨ 『風量・弱』ボタンを押す。
- 風量「オート」 ⇨ 『風量・オート』ボタンを押す。



メモ

風量「オート」は、冷風運転、除湿冷風モード、おやすみモード(冷風・除湿冷風)時に設定できます。温風モード、加湿温風モード、除湿モード、送風モード時は、風量「オート」の設定ができません。

■ 風量「オート」設定時の動作について

設定温度と周囲温度にあわせて風量「弱」と「強」が自動で切り替わります。風量ランプは、「オート」と動作中の風量「強」または「弱」が同時に点灯します。

◎ 風量ランプ「弱」点灯のとき

周囲温度が設定温度より高くなると、風量「強」に切り替わります。

◎ 風量ランプ「強」点灯のとき

周囲温度が設定温度以下になると、風量「弱」に切り替わります。

オフタイマーを使う

1～24時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を停止します。

■ オフタイマーを設定する

- ① 運転中に操作部またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイがタイマー設定表示「00」に切り替わり、ディスプレイが点滅します。



- ② ディスプレイの点滅中に、操作部またはリモコンの『温湿度/タイマー設定』ボタンまたは『タイマー』ボタンを押して時間を設定します。
 - ・『温湿度/タイマー設定』ボタンは、「▲」を押すたびに1時間単位で増え、「▼」を押すたびに1時間単位で減ります。
 - ・『タイマー』ボタンは、押すたびに1時間単位で増えます。



- ③ 時間を設定したあとディスプレイが点灯になると、もとの表示に切り替わって設定完了となります。
設定時間を確認したいときは、操作部またはリモコンの『タイマー』ボタンを押すと、約5秒間点滅表示したあと、もとの表示に戻ります。

■ オフタイマーを解除する

もう一度操作部またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイの点滅中に時間の設定を「00」にあわせて点灯するまで約5秒待つと、オフタイマーが解除されます。

メモ オンタイマーとオフタイマーは同時に設定できません。

ご使用方法

オンタイマーを使う

1～24時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を開始します。

■ オンタイマーを使う

- ① 運転中に運転を開始するときの運転モード設定をおこない、設定完了後に運転を停止して待機状態にします。
※オンタイマー設定中は運転モード設定の変更ができません。
- ② 待機状態のときに操作部またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイがタイマー設定表示「00」に切り替わり、ディスプレイが点滅します。



- ③ 操作部またはリモコンの『温湿度/タイマー設定』ボタンまたは『タイマー』ボタンを押して時間を設定します。
 - 『温湿度/タイマー設定』ボタンは、「▲」を押すたびに1時間単位で増え、「▼」を押すたびに1時間単位で減ります。
 - 『タイマー』ボタンは、押すたびに1時間単位で増えます。



- ④ 時間を設定したあと、ディスプレイが減灯に切り替わると、設定完了となります。
時間経過にあわせて残り時間は減少します。

■ オンタイマーを解除する

- もう一度操作部またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイの点滅中に時間の設定を「00」にあわせて点灯するまで約5秒待つと、オンタイマーが解除されます。
- 操作部またはリモコンの『電源』ボタンを押すと、オンタイマーが解除され運転を開始します。

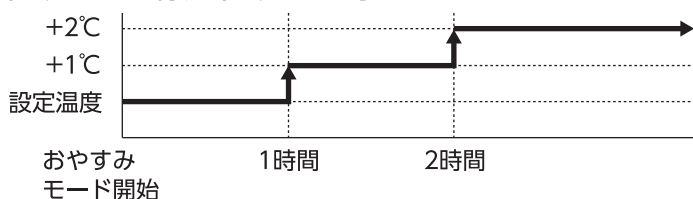
おやすみモードを使う

冷風モード、除湿冷風モード、温風モード、加湿温風モードの時に、ディスプレイと各ランプが消灯して運転します。

- 冷風モードと除湿冷風モード時は、設定温度から1時間後に1℃上昇し、2時間後にさらに1℃上昇します。
- 温風モードと加湿温風モード時は、設定温度から1時間後に1℃下降し、2時間後にさらに1℃下降します。

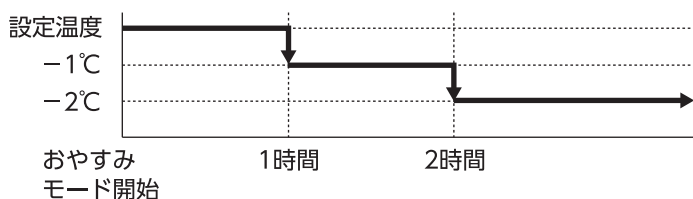
■ おやすみモードの動作内容

◎冷風モードと除湿冷風モード時



2時間経過後は、電源を切るかオフタイマー設定で停止するまで運転を続けます。

◎温風モードと加湿温風モード時



2時間経過後は、電源を切るかオフタイマー設定で停止するまで運転を続けます。

■ おやすみモードを設定する

- 運転中に操作部またはリモコンの『おやすみ』ボタンを押すと、風量が「弱」に切り替わって『おやすみ』ランプが点灯し「おやすみ」モードが設定されます。

おやすみモード設定後は、操作しない状態が約10秒続くと操作部のランプが消灯します。

- 操作部のランプが消灯しているときに操作部またはリモコンのいずれかのボタンを押すと、操作部のランプが点灯します。

操作部のランプの点灯中にお好みにあわせて、運転モード、設定温湿度、風量、正面ルーバースイング、オフタイマーの設定を変更してください。操作しない状態が約5秒続くと再度消灯します。

- 冷風設定と除湿冷風設定時は、風量ボタンで風量「強」、風量「オート」への変更ができます。温風設定、加湿温風設定、除湿設定、送風設定時は、風量「強」への変更ができます。

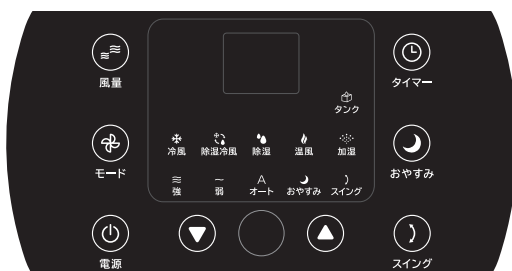
操作部

◎例：設定温度25℃の場合

設定時



操作しない状態が約10秒経過後

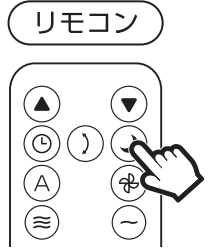


ご使用方法

■ おやすみモードを解除する

操作部が消灯しているときに操作部またはリモコンのいずれかのボタンを押して、操作部のランプを点灯させます。

操作部のランプが点灯しているときに、操作部またはリモコンの『おやすみ』ボタンを押すと、『おやすみ』ランプが消灯して、おやすみモード設定が解除されます。



メモ

- ・オフタイマーとおやすみモードは同時に設定できます。
- ・オンタイマーとおやすみモードは同時に設定できません。

風向きを変える

正面ルーバーの向きを上下にスイングして風向きを変えます。

■ 正面ルーバースイング運転を停止する

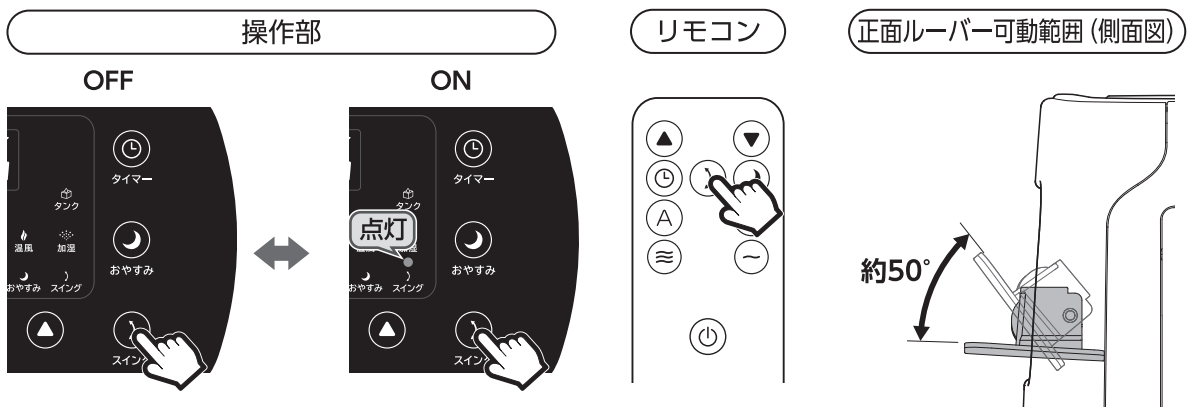
正面ルーバースイング運転中に操作部またはリモコンの『正面ルーバースイング』ボタンを押すと、『正面ルーバースイング』ランプが消灯して、正面ルーバースイング運転を停止します。

■ 正面ルーバースイング運転を開始する

正面ルーバーの停止時に操作部またはリモコンの『正面ルーバースイング』ボタンを押すと、『正面ルーバースイング』ランプが点灯して、正面ルーバースイング運転を開始します。

正面ルーバースイング運転中は、上下方向に約50°の範囲で正面ルーバーが可動します。

はじめてお使いになる場合や、電源プラグを差し直した場合は、運転の開始にあわせて正面ルーバースイング運転も開始されます。



注意

正面ルーバーの動作中に手動で角度を変更しないでください。故障の原因になります。

水タンクの水が少なくなると

- 水タンクの水が少なくなると、“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ”と電子音が5回鳴って、『水タンク』ランプが点灯します。

- 温風モードと加湿温風モード時は、排水冷却運転をおこないます。約7分後に排水冷却運転が停止し、“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ”と電子音が5回鳴って、ディスプレイにエラーコード「E9」が表示され、運転が停止します。
水タンクに給水して操作部またはリモコンの『電源』ボタンを押すと、運転を再開できます。

メモ おやすみモード時は、電子音は鳴りません。

操作部



ディスプレイ

エラーコード



水タンクが満水になると

除湿モード時に水タンクが満水になると、ディスプレイに「E4」と表示されて運転を停止します。
水タンクの水を捨ててください。

ディスプレイ

エラーコード



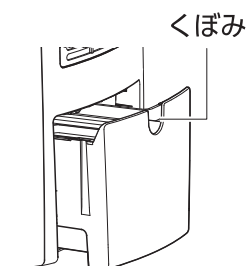
水タンクの給水/排水について

■ 水タンクを取り外す

- ① 運転中の場合は、必ず運転を停止します。
- ② 水タンクのくぼみに指先を入れてまっすぐに引き出します。
水タンクを取り外すと、ディスプレイに「E4」と表示されます。
※運転したままで取り外すと、自動的に運転停止します。

注意

- 排水冷却運転中は、ディスプレイが消灯するか、エラー表示になるまで待ってから水タンクを取り外してください。
やけどやけがの原因になります。
- 水が入った状態で水タンクを取り外すときは、水タンクを水平にして、まっすぐにゆっくりと取り外してください。勢いよく取り外すと、水がこぼれる原因になります。
- 冷風用吸水ホース、温風用吸水ホース、排水口に残った水が流れ出てくる場合があります。流れ出てきた水はタオルなどで拭き取ってください。拭き取らずにご使用を続けると、水が漏れて床が濡れる原因になります。
- 温風モードと加湿温風モードの運転後は、水が熱い場合があります。



ご使用方法

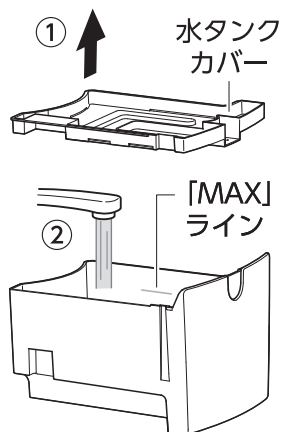
■ 給水する

- ① 水タンクカバーを取り外します。
- ② 水タンク内側にある水位表示の「MAX」ラインを確認しながら水道水を入れます。

水タンクの容量は約2.4Lです。

注意

- 「MAX」ラインを超えて水を入れて本体に取り付けると、ディスプレイに「E4」と表示されて運転を開始できません。
- 続けてご使用になる場合は2～3日を目安に新しい水道水と入れ替えてください。

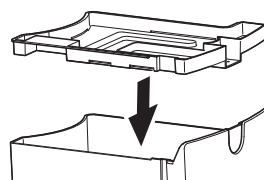


■ 排水する

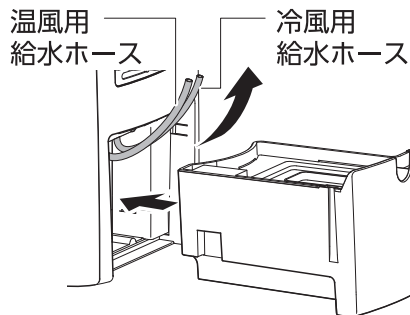
水タンクカバーを取り外して、洗面台などに水を流して捨てます。

■ 水タンクを取り付ける

- ① 水タンクカバーを取り付けます。



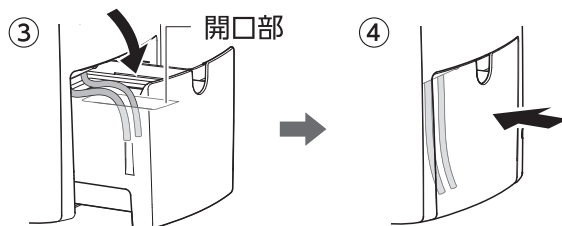
- ② 温風用給水ホースと冷風用給水ホースを持ち上げ、水タンクを半分ほど本体に入れます。



- ③ 温風用給水ホースと冷風用給水ホースの先端を水タンクカバーの開口部に入れます。

- ④ 水タンクを奥まで押し込みます。

水タンクを取り付けると、ディスプレイの表示とすべてのランプが消灯し待機状態となります。操作部またはリモコンの『電源』ボタンを押すと、引き続き運転を開始します。



注意

- 水が入った状態で水タンクを取り付けるときは、水タンクを水平にして、まっすぐゆっくりと取り付けてください。勢いよく取り付けると、水がこぼれる原因になります。
- 温風用給水ホースと冷風用給水ホースが水タンクに入っていないと、排気口からの風の温度が思ったかくなったり、水が漏れて床が濡れたりするだけでなく、本体が故障する原因となります。

お手入れと保管方法

⚠ 警告



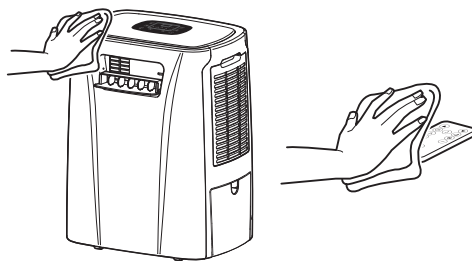
必ず守る

お手入れの際は必ず運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電やけがの原因になります。

■ 本体とリモコンのお手入れ

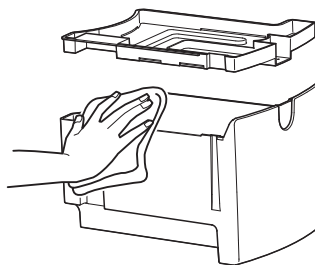
ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤に浸してよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取ります。乾いた柔らかい布で拭いたあと、陰干しをしてしっかりと乾かします。

- お手入れには塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
- リモコンのボタン電池は取り外してください。



■ 水タンクと水タンクカバーのお手入れ

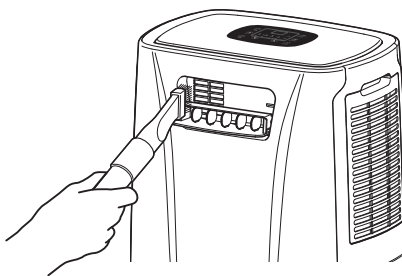
- 長期間使用しない場合は、水を捨てたあと、本体と同様のお手入れをしてください。
- 続けて使用する場合は、2～3日を目安に新しい水道水と入れ替え、水タンク内部は常に清潔にしてください。



■ 送風口のお手入れ

正面ルーバーを開き、すき間にたまったホコリは掃除機で吸い取ります。

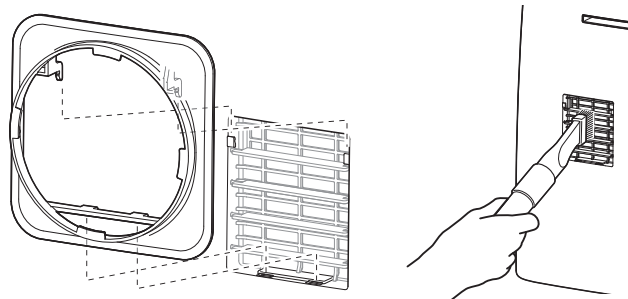
お手入れのあとは、正面ルーバーを閉じてください。



■ 排気口のお手入れ

「本体ジョイントの取り付け/取り外しについて」(P.10)に従って本体ジョイントを取り外し、排気口のすき間にたまったホコリを掃除機で吸い取ります。

お手入れのあとは、本体ジョイントを取り付けてください。

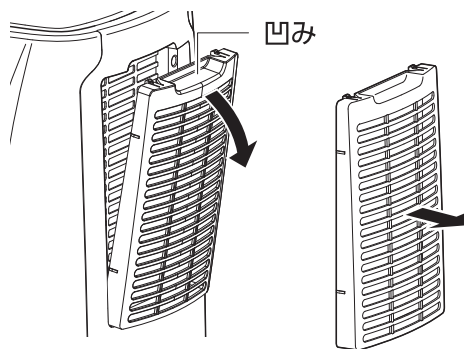


■ 吸気口のお手入れ

吸気フィルター（右側面と左側面に各1枚）を取り外してお手入れします。

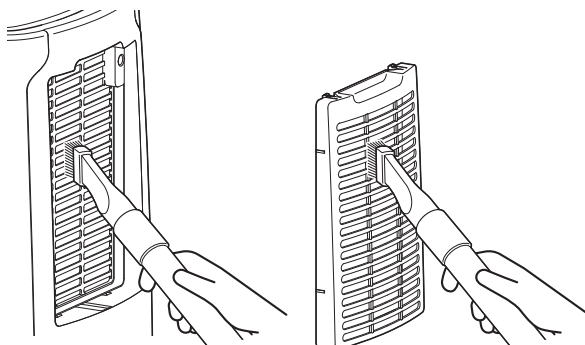
※取り付けかたと取り外しかたは両側とも同じになります。

- ① 吸気フィルター上部の凹み押さえながら倒し、手前に引いて取り外します。

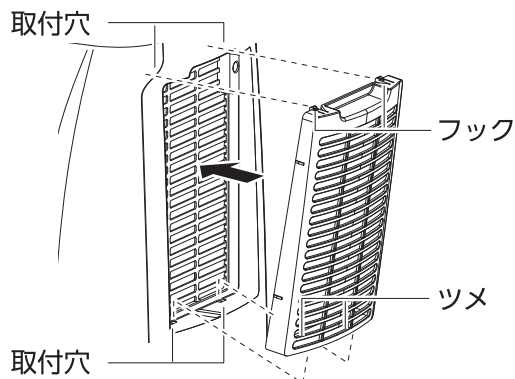


- ② 吸気口と吸気フィルターのすき間にたまったホコリを掃除機で吸い取ります。

- 吸気フィルターの汚れが落ちにくい場合は、本体と同様のお手入れをしてください。
- 吸気フィルターは取り外した状態で水洗いもできます。水洗いをしたあとは水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。



- ③ お手入れのあと、吸気フィルター下部のツメ（2か所）を取付穴に差し込み、上部のフック（2か所）が取付穴に引っ掛かるようしっかり押し込みます。



■ 本体内部のお手入れ

長期間使用しない場合は、送風モードで3～4時間運転して内部を乾かします。

■ 保管方法

- お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをしてしっかりと乾かします。湿ったまま保管すると、カビの発生や故障の原因となります。
- リモコンからボタン電池を抜いて、ボタン電池の電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼って保管してください。
- 本体にポリ袋をかぶせ、お買い上げ時の箱などに入れて、直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管してください。
- 本製品は圧縮機を内蔵していますので、横倒しの状態での移動や保管はしないでください。故障の原因となります。

長期使用製品についてのご注意

長期間の使用により下記のような症状が見られた場合は、すぐに電源を切って、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはスリーアップカスタマーサポートにご相談ください。

- スイッチを入れてもファンが回らない。
- ファンが回っても、回転が不規則に変化する。
- 回転するときに異常な音や振動がする。
- モーター部分が異常に熱かったり、焦げ臭いにおいがする。
- 電源コードが折れ曲がったり破損している。
- 電源コードに触れると、電源が切れたり入ったりする。

設計上の標準使用期間

製品本体に表示してある【設計上の標準使用期間】は右記に示す標準的な使用条件の下で使用した場合に安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。標準的な使用条件を超えて用いた場合に、標準使用期間よりも短い期間で経年劣化による発火やけがなどの事故に至る可能性があります。製造年は本体ラベルに記載しています。

製品の故障や劣化は、この条件以外でもさまざまな要因に影響を受けます。標準使用期間に達しない場合でも、上記のような異常がみられた場合にはすぐにご使用をやめ、販売店もしくは「スリーアップカスタマーサポート」にご相談ください。また、「設計上の標準使用期間」は「保証期間」とは違い、本製品の無料交換を保証する期間ではありません。保証内容および期間につきましては本書に添付の「保証書」に記載しています。

		冷風	温風
環境条件	電源電圧	単相100V	
	周波数	50/60Hz	
	温度(室内)	27℃(乾球温度)	20℃(乾球温度)
	湿度(室内)	47%(湿球温度19℃)	59%(湿球温度15℃)
	設置条件	標準的な設置	
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間	
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋	
想定時間	1年間の使用日数(東京モデル)	6月2日から9月21日までの112日間	10月28日から翌年4月14日までの169日間
	1日の使用時間	9時間/日	7時間/日
	1年間の使用時間	1,008時間	1,183時間



【設計上の標準使用期間】 5年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

製品の廃棄について

本製品は、特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)の適用商品ではありません。

廃棄する場合は、専門の回収業者へ委託し、適切に処理してください。

廃棄に関してご不明な点は、各自治体の窓口に確認をお願いいたします。

故障かな?と思ったら

スリーアップカスタマーサポートにご連絡いただく前に、下記項目の確認をお願いいたします。

症状	考えられる原因	対処方法
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが外れている。 『電源』ボタンを押していない。 リモコンのボタン電池の残量が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに接続してください。 『電源』ボタンを押して運転を開始してください。 製品に付属しているボタン電池はテスト用のため、早く消耗する場合があります。新しいボタン電池に交換してください。
運転が停止した	<ul style="list-style-type: none"> オフタイマーが作動して停止した。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きご使用になる場合は、『電源』ボタンを押してください。
運転音が大きい	<ul style="list-style-type: none"> 不安定な場所に設置している。 送風口や吸気口などにホコリがたまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 水平で安定した場所に設置してください。 お手入れをしてホコリを取り除いてください。
冷風が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 送風口や吸気口などにホコリがたまっている。 『冷風』ランプまたは『除湿』ランプが点滅している。 圧縮機が停止している。 自動保護機能が動作している。 排気蓋を取り付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> お手入れをしてホコリを取り除いてください。 冷風モード時は、本体の周囲温度が設定温度以下になると、『冷風』ランプが点滅して冷風から送風に切り替わります。温度設定の温度を下げてみてください。 除湿モード時は、本体の周囲湿度が設定湿度以上になると『除湿』ランプが点滅して冷風から送風に切り替わります。湿度設定の湿度を下げてみてください。 圧縮機が一度停止したあとは、すぐに圧縮機が作動しない場合があります。圧縮機が再度作動するまで約3分程お待ちください。 冷風モードと除湿モード時は、特定の環境になると自動保護機能が動作します。自動保護機能の詳細は、「霜付き保護動作」(P.20)をご確認ください。 排気蓋を取り付けていると冷たい風が出てきません。排気蓋を取り外してください。
温風が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 送風口や吸気口などにホコリがたまっている。 温風モード時に、本体の周囲温度が設定温度以上になった。 温風モードまたは加湿温風モードを設定した直後である。 温風用給水ホースと冷風用給水ホースが水タンクの中に入っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> お手入れをしてホコリを取り除いてください。 温風モード時は、本体の周囲温度が設定温度以上になると、『温風』ランプが点滅して温風を停止します。設定温度を周囲温度より高くなるように変更してください。 温風が出てくるまで、周囲の環境によっては約10分くらい時間がかかることがあります。 温風用給水ホースと冷風用給水ホースを水タンクカバーの開口部に入れてから、水タンクを取り付けてください。








症 状	考えられる原因	対処方法
本体から水が漏れる	<ul style="list-style-type: none"> • 本体が傾いて設置されている。 • 本体が傾いて状態で移動した。 	<ul style="list-style-type: none"> • 水平で安定した場所に設置してください。 • 本体を移動する際は、傾かないように慎重に移動してください。
排気口の風があたたかい	<ul style="list-style-type: none"> • 冷風モード時に水タンクの水が少なくなった。 • 除湿モードで運転している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 冷風モード時に水タンクの水が少なくなると、『水タンク』ランプが点灯します。引き続きご使用になる場合は、水タンクに水を入れてください。 • 除湿モード時は、排気口から温風が出ます。
運転中に操作部のランプとディスプレイが消えている	<ul style="list-style-type: none"> • おやすみモードが設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> • おやすみモード設定中は、操作部の表示が消灯したままで運転します。故障ではありません。操作部のいずれかのボタンを押すと、ランプとディスプレイが約10秒間点灯します。
水タンクが奥まで入らない	<ul style="list-style-type: none"> • 温風用給水ホースと冷風用給水ホースが水タンクの中に入っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 温風用給水ホースと冷風用給水ホースを、水タンクカバーの開口部に入れてから、水タンクを取り付けてください。
水タンクに黄色などの色が付着している	<ul style="list-style-type: none"> • 本体の近くで線香を使用したり、喫煙をしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 吸気口から吸い込んだ煙の成分が水に混ざり、水タンクが黄色くなります。煙から離れた場所に設置してください。
周囲湿度が高くなった	<ul style="list-style-type: none"> • 冷風モードを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 冷風モードは水タンクから吸い上げた水を本体内部の発熱部（熱交換器）で冷やしているため、湿度が少し高くなる場合があります。湿度が気になる場合は、除湿冷風モードをご使用になるか、別売品のドア用排気ダクトの購入をおすすめします。
乾燥しているのに加湿ランプが点滅して加湿しない	<ul style="list-style-type: none"> • 排気蓋を取り付けたままで加湿温風モードを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 排気蓋を取り付けていると内部の湿度が上がります。内部の湿度が65%以上で加湿を停止して加湿ランプが点滅します。排気蓋を取り外してください。
水タンクが熱い	<ul style="list-style-type: none"> • 温風モードまたは加湿温風モードを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 温風モードと加湿温風モード時は、熱い水が水タンクに流れるため、水タンクが熱くなります。異常や故障ではありません。
正面ルーバーが閉まらない	<ul style="list-style-type: none"> • 正面ルーバースイングの動作中に、正面ルーバーを手で動かした。 	<ul style="list-style-type: none"> • 運転を停止して電源プラグを一度抜いてからルーバーを手で閉めたあと、電源プラグを差し込み再度電源を入れてください。

※ 上記の点検をおこなっても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 弊社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。

エラー表示について

エラー発生時はディスプレイに下記のエラーコードが表示されます。

エラーコード	エラーの内容	対処方法
	温度センサー①が故障した。	直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。
	温度センサー②が故障した。	お買い上げの販売店またはスリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。
	<ul style="list-style-type: none"> 水タンクが満水になった 水タンクが奥まで取り付けられていない。 温風用給水ホースと冷風用給水ホースが水タンクの中に入っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 水タンクの水を捨ててください。 水タンクを奥まで押し込み、確実に取り付けてください。 温風用給水ホースと冷風用給水ホースを水タンクカバーの開口部に入れてから、水タンクを取り付けてください。
	ファンモーターの回転に不具合が発生した。	<p>温風モード以外でご使用の場合は、本体背面の排気口に排気蓋が取り外されていることをご確認いただいたあとに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>約5分後に電源プラグをコンセントに差し込んで、再度動作をご確認ください。</p> <p>改善がみられない場合は、お買い上げの販売店またはスリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。</p>
	安定した水平な場所に置かれていない。 (転倒時自動オフ機能が作動した)	安定した平らな床面に設定してください。
	温風モードと加湿温風モード時に水タンクの水が少なくなった。	水タンクに水を給水してください。
	操作基板と電源基板の通信異常	<p>電源を切って電源プラグをコンセントから抜いたあと、約10秒後に電源プラグをコンセントに差し込んで、再度動作をご確認ください。</p> <p>改善がみられない場合は、お買い上げの販売店またはスリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。</p>

THREEUP